

今回、細胞ひとつ見るのにも、とても苦労されていることを知ったと同時に、細胞や顕微鏡に対して興味がわきました。

私は、まだ中学一年なので知らないことたくさんありましたが、蛍光顕微鏡など最先端の技術を駆使して、日々細胞や医療の研究をされていることがわかりました。また、2種類の蛍光顕微鏡の仕組みや、それを使った研究などをわかりやすく説明してくださったり、実際にイヌの腎臓の細胞を落射型顕微鏡や共焦点顕微鏡で見せていただきました。また、蛍光を発するマウスを見たリ、マウスの命を奪うことなく生きたままで体を観察できる顕微鏡でマウスの目を観察するなどとても貴重な経験ができました。

今回の参加を通して、私達の体をつくる細胞の仕組みや蛍光顕微鏡に大変興味を持ちました。興味を持ただけに終わらず、このような機会があればぜひ積極的に参加したいと思います。

今回は貴重なお話と体験をありがとうございました。

今の最先端の技術はこんなにもすごいのだ
と思いました。特に、マウスの耳の毛穴を見せて
くださった機械に触れることができ
とても貴重な体験ができたと思いました。
お話をしてくださった内容は少し難しかった
のですが、分かりやすく話してくださった
ので私にも理解することができました。
今回の様な体験ができ本当に良かったと
思いました。

私は実験にネズミを使っているのだと聞いたとき、いくらネズミの遺伝子がヒトの遺伝子と99%同じでも、体を傷つけるのは、かわいそうだと思います。でも研究をしていらっしゃる方は、ネズミの体をできるだけ傷つけないように最大限の努力をされているということを知って、とても安心し、ホッとしました。

ネズミの体を傷つけないでも体の内側が見れる機械がすごく、感動しました。とても高いものなのでそんなに多く購入するのは難しいと思いますが、できるだけ早く色んな病院などへ普及してほしいなあと思います。

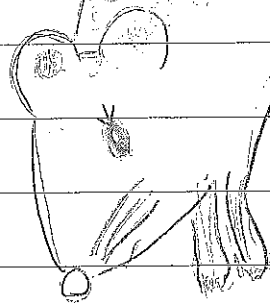
今回の経験を通して医学の最先端の技術に興味をもちました。また機会があれば研究室を訪問させていただきたいです。

私は、マウス。実験が一番おもしろかったです。よく、
ネズミを実験に使う、ということを知ります。とてもかわいそ
うだな、と思っていました。ですが、お話しした下さった方が
「この、実験用に使われているマウスたちには、きろんと麻酔や
人口呼吸などをしてる。」とおっしゃっていました。

私たち人間のために、犠牲になるネズミがいるのだ、とい
うことを改めて感じ、命の大切さを感じました。

感謝です。また、とても難しいことも、わかりやすく
聞くことができて、とても楽しかったです。

ありがとうございました！



私は何度か京都大学へ理科の松林先生の実験
で行っていたのですが、今回のようにこんなに奥深
くまで見たことがなかったのもとてもいい経験に
なりました。京都大学の研究室の顕微鏡は私達
が学校で使っているものと異なり、とても高価で複
雑なものであり一生に一回、見れるか見れないかの
顕微鏡が置いてありました。その顕微鏡でマウ
スを見るという事になった時、正直とても怖くて不
安がつのりました。しかし、先生がおっしゃったよ
うに人の体で実験することができない代わりに
マウスの体を使って実験させてもらっている、という事
を考えると自分がマウスに対して怖いという感情を
持っていたことがなさけなくなりました。

私はこの研究を経て身近に顕微鏡に触れ、
そして動物への感謝が感じられるいい体験となりました

1. 参加しようと思った理由

学校から今回こういうチャンスをおいて、京大医学部という
場所ではどんな人がどんな研究をしているか気になったから。

2. 感想

中|なので、うしまずかい部分があったかもしれないが、全体的に
自分の視野が広がったというか、見たことない器具や、マウスを使った実験
など、興味をひくものが多かった。また、その他医学部の卒業生の進路
などもわかりよかった。

ほくは京都入学はテレビなどで見たことはあったけど
実際に行ったことはなかったのでとても行くのが楽しみで
した。実際に行ってみるととても広くりりりな教材
の建て物があったので驚きました。研究室は一
部では言え研究を止めても見せてくださったことに
感謝しています。研究はがん細胞、医学部くさしいか
分からなかったのでもんなのだらうかと思いたし、ネズミの細胞を
変えりりりな色に変えることだったのでとても驚きま
した。あまり詳しくは分からなかったけどいい経験になった
ので来るとても良かったと思いました。

私は、今回初めて、大学の研究室を訪れました。そこには、見たことのないけんび鏡やコンピューターが置いてありました。又、動物、1匹、飼いがしました。その元こそ方では、教えて下さった先生は、皆おびやかで安心しました。内容は、難しく、わからないところもありましたが、「こういうことなのではないか」と、なんとなくわかりました。実際にネズミを使った実験をさせてもらった時、貴伝子を組みかえることで動物が蛍光を放つようになるのは、すごいなあと思ひ、驚きました。面白かったです。ありがとうございます。

私はまだ1年生なので細胞の話とか核とかがいまいち分かりませんでした。

けれどねずみの話は分かりやすかったです。ねずみの耳のけんびきょうと他の

けんびきょうの違いはよく分かりましたが他の2つの違いはよく分かりませんでした。

した。ねずみと人が似ていることに

一番おどろきました。京都大学の違う所には行ったことがあったけど医学部には

行ったことがありませんでした。

なので色々なものを見ることかできて良い体験になりました。おそれ医学部

にも京都大学にも行かないと思っけれど、

こういうものを見る機会があて

良かったと思います

蛍光顕微鏡は 理科の授業で使うものと違。て。
紫外線をあてると赤や緑のきれいな色に光。て見えて、
とてもきれいでした。共焦点顕微鏡を使うと
厚みのあるものでも その内部に焦点をあてられるので
光。ている部分がさらにく。まり見えまして。

毛のないマウスは少し気味悪か。たけど、

ピンク色に光るマウスはとてもきれいでした。

皮膚の少し内側まで見る事ができるのも不思議
でした。これと共焦点顕微鏡を組み合わせ、
将来はからだの中全部 生きたまま見ることが
できるようになればいいなと思いました。

そうすれば、病気のところが光。て見えたり
色がかわ。たりして、病気を早くみつけられる
ようになるのではないのでしょうか

普段なかなか入られない部屋に行けて、とても貴重な体験をさせてもらえました。とても興味深い所で楽しかったです。断面図を見るという技術は驚きました。

他にも、普段言葉は知っていても、どういふものかイマイチわからなかった紫外線、赤外線についても知ることができたり、濃い内容の見学ができました。

また、企画があれば行ってみたいと思いました。

ありがとうございました。

今回の医学部の訪問で、僕は、僕達が知らない間に、医学はめざましく進歩しているのだと感じ嘆いた。

其、このおかげ、医学の進歩のために、ラットが実験で使用されていると知った。今回、見学で見たラットは光をあてると発光するように遺伝子をくみかえていると知り、彼らのおかげで今の医学、これからの医学ができていゝのだなと思ひ感動した。それから、教授方が、患者の負担を軽くするため、日々研究を重ねてくださっていることに、僕から感謝したい。

京都大学訪問では、基礎医学の分野として、様々な種類の細胞を見る様々な顕微鏡があり、顕微鏡の見え方を学びました。訪問した研究室は、病気のメカニズムを解明するために、細胞と向き合う研究をてがけている所でした。僕は、一番病気の根本となる部分を研究しているので、なくてはならない重要なものだと思います。マウスを使った蛍光の仕組みは、現在の人間の命に最も関わり、一番手ごわいガン細胞の位置を特定するための最先端で、とても素晴らしい研究だと思います。日本の理系の最高峰への見学・訪問はとても良い経験になりました。これからも、医学の発展に取り組んで、色々な病気の解明への第一歩となることを僕は願っています。

初めて間近で、光るマウスを見て、日々のこのよ
うな研究が、七トのがん細胞発見へと
つながっていることを知り、多くの人の力が命を
救うということがよく分かりました。

又、2種類の顕微鏡を見て、とても精密
で重労働である研究が行われているのだ
なあと思いました。

光・エネルギーの強さによって、各部の
色が変わりやすく示され、これら全てを使い、
日本の医学を支えていることに関心しました。
ぜひ、また機会があれば研究室訪問に
参加したいと思っております。

京大の人は普通の人と違うと思、た。私もぜひ今回案内して下さ、たような方達と学びたいと思、た。

ところで、強いエネルギーを持つ色の光をけい光物質にあてるとそれより弱いエネルギーの光が見えるという実験なのですが、「エネルギー保存の法則」があるなら、途中でなくな、たエネルギーはどこへ行ったのでしょうか？

今まで何回か京都大学に訪れたことがあるのですが、施設の面白
く探見したのは初めてでした。今回見た研究所にはたくさん
顕微鏡やパソコン、実験器具などが揃っている。

研究を行うのに最適な場所だと思いました。

また、^{京都府の府内にあります}松岡先生と会うのが難しいことを卒業でもおぼろげに
丁寧な説明をしてくれて、とても親切にやってくれました。

今後機会があれば是非行きたいです。

今度、京都大学に行、たことが分、たので、今回、参加
できて嬉しかったです。始め、光るマウスを見ました。青い光が
見えにくい黄色のゴーグルをかけて、マウスを見ると、蛍光に光っ
て驚きました。何がしていたマウスもいたので、それは少し
怖かったです。

可視光については、私には難しく、少し分からないこと
があったけれど、これから、高校、大学で疑問が解けるよう
勉強していきたいと思いました。

マウスの皮膚の少し下の所を見れる顕微鏡はあざらしい
なと思いました。そんな顕微鏡があることを知らなかったの
で、ただ、マウスを置いて見るだけで、皮膚の下を見れることは
驚きました。

将来、京都大学で見せてもら、たようなものを使って勉強できれ
ば良いと思いました。これから、もっとたくさんの知識を増やそう
と参加してみたいと思いました。

私が今回の見学会に参加したのは理由があります。それは私の祖母が癌で亡くなったからです。祖母は、6年近く癌と戦ったにもかかわらず、最後は癌が何ヶ所にも転移して、それまでの手術や抗がん剤で体力も無くなり、やせてしまいました。そんな時でも、テレビでは新しい癌の治療法が発明されたと報じていました。でも、その治療法は祖母の命を救う、何の助けにもなりませんでした。でも今回の見学会に参加して2つ思った事があります。

1つ目は、新しい治療法や新薬が発明されて、結果的にそれが患者さんに適用されなくても、発明されたという情報だけで患者さん達に希望を与えられるという事です。

2つ目は、蛍光顕微鏡を見学して、癌を研究することで、関係する道具なども発達して、様々な事の発達につながっていくという事です。

私は今回の見学会で色々な事を知ることができてよかったです。